

株式会社ウッドピタが
『生活者の防災対策に関する意識と実態調査』を実施

実施している防災対策のトップ3は
「避難場所の確認」「保険加入」「食料や水の備蓄」

防災対策にかかる費用は平均で年間31,738円

--東京・愛知・大阪で、最も高いのは大阪--

株式会社ウッドピタ(本社:名古屋市、社長:磯貝豊、矢作建設工業株式会社の100%子会社)は、本年5月にインターネットで生活者の防災対策に関する意識と実態調査を実施し、1,500人の有効回答を得ました。結果は以下の通りです。

[調査の背景]

地震や風水害、火災や交通事故など、私たちは様々な災害の危険性と隣り合わせにあります。特にこれからは台風や集中豪雨の多いシーズンに入り、9月1日の「防災の日」も間近に控えています。そうした中で、弊社では防災対策について今、一般の生活者がどのような意識を持ち、対策を行なっているのか調査を実施しました。

[調査結果の総括]

「あなたが強く不安を感じる災害は」の問いに9割以上の方が「地震」と回答。これを反映するように「防災対策として実施していること」の回答でも「避難場所の確認」など地震への備えが多く挙げられました。また、「防災対策を何もしていない」人が全体の3分の1以上にのぼっており、防災対策への自己評価も100点満点で36.4点にとどまっています。地震などの災害に不安は感じていても、十分な対策を取るには至っていない状況が明らかになったと言えます。

[調査結果の概要]

高まらない防災意識、地域協力も低調

「防災に対する意識が高いほうだと思いますか」の問いに「非常に高い」「やや高い」と答えた人が36.4%にとどまる一方、「やや低い」「非常に低い」と答えた人が25.1%にのぼり、残念ながら全体として防災意識が高いとは言えない結果となりました。また、「非常に高い」「やや高い」と答えた人を男女別で見ると、男性が40.9%であったのに対して女性は31.7%。男性が大きく上回りました。

<あなたは防災に対する意識が高いほうだと思いますか？>

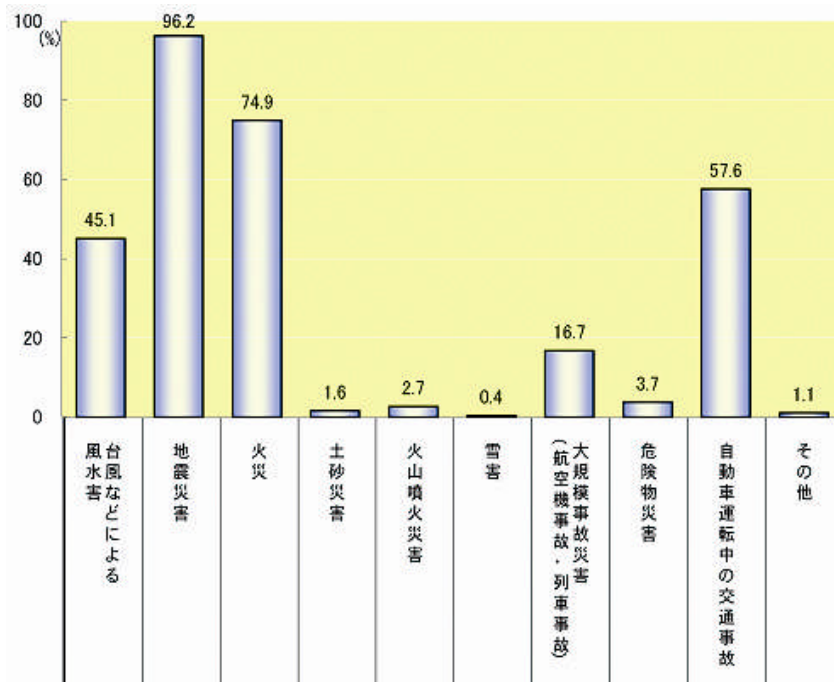
		n=	非常に高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	非常に低い	(%)
全体		(1,500)	3.3	33.1	38.6	21.8	3.3	
性別	男性	(750)	3.6	37.3	35.6	19.2	4.3	
	女性	(750)	2.9	28.8	41.6	24.4	2.3	

防災対策で地域社会の方と協力しているかどうかを尋ねたところ、「積極的に協力している」人は3.5%、「ある程度は協力している」人(18.3%)を含めても2割強にとどまりました。「協力の仕方がわからない」人も16.9%いるなど、被災時に重要となる地域ネットワークが十分機能しない可能性も懸念されます。

不安は大きいものの、対策は進んでいない

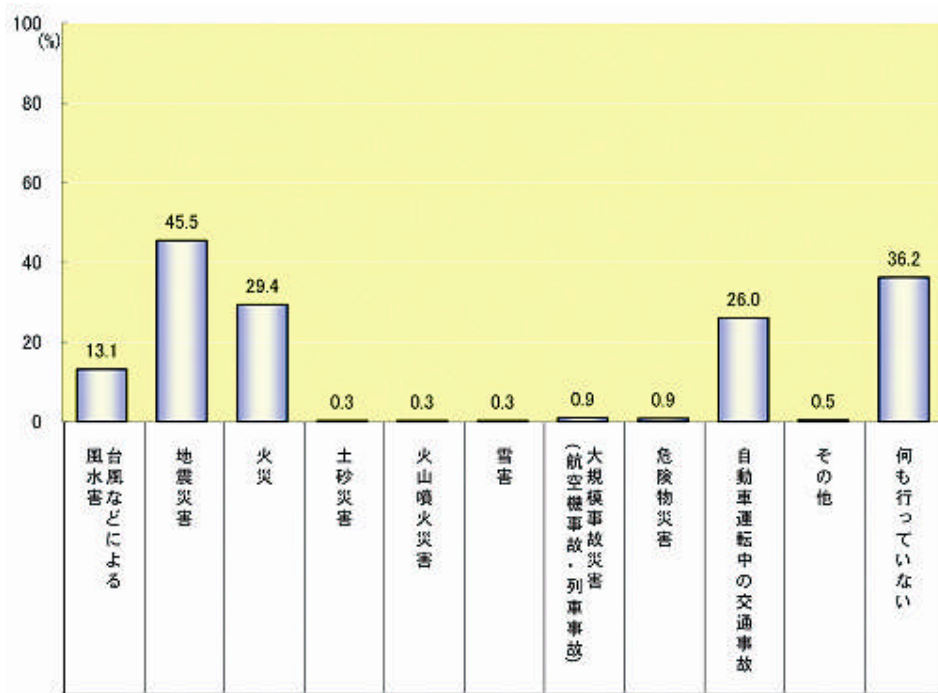
「強く不安を感じる災害はどれですか」の問いに、最も多かった答えは「地震」(96.2%)。次いで「火災」(74.9%)、「自動車運転中の交通事故」(57.6%)、「台風などによる風水害」(45.1%)でした。

<あなたが強く不安を感じる重い災害はどれですか？(複数回答)>



「どのような災害への対策を優先して行っていますか？」の回答をみると、やはり「地震」がトップであるものの、ポイントが「不安」の半分以下(45.5%)にまで低下。対策を「何も行っていない」人も全体の3分の1以上にのぼります。

< あなたはどのような災害への対策を優先して行っていますか？(複数回答) >



実施している防災対策への自己評価は、100点満点で36.4点

現在実施している防災対策の自己評価について「100点満点で何点か」を尋ねたところ、全体の平均で36.4点。かなり低い点数にとどまっています。災害に対する不安は強いものの、実際の対策にはつなげていないのが現状のようです。

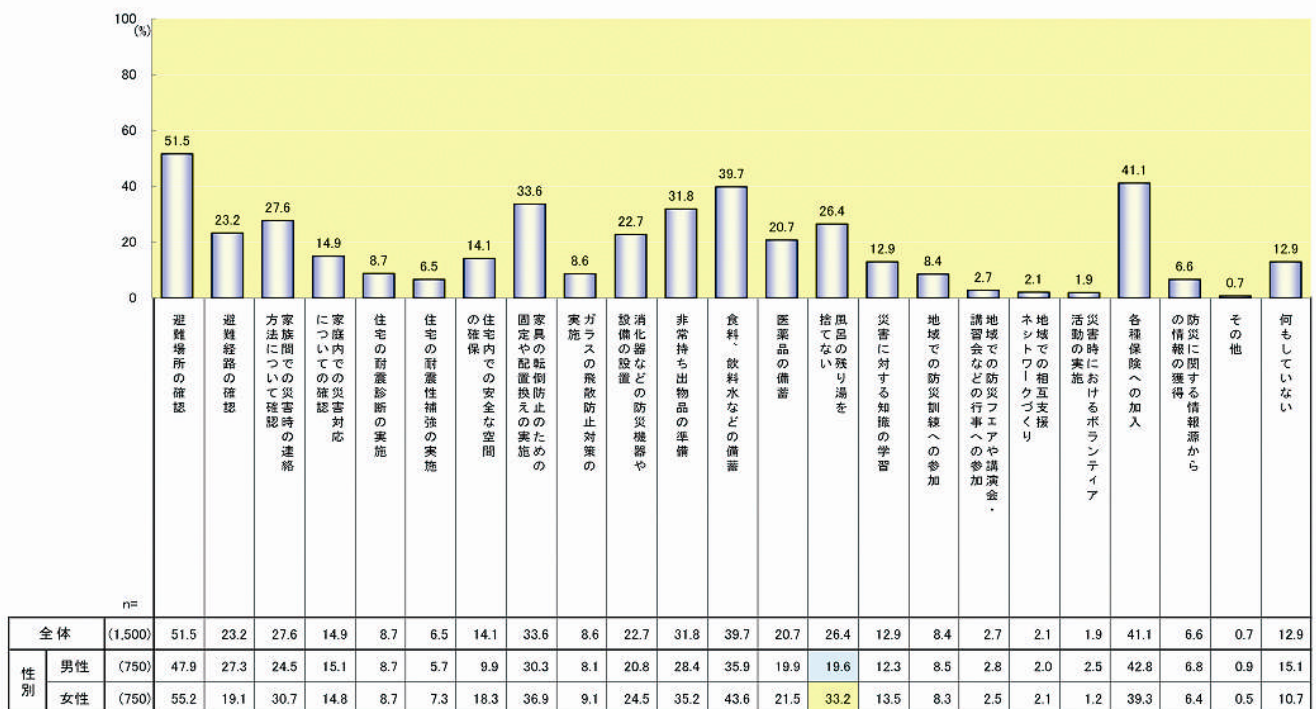
< 現在あなたが実施している防災対策は100点満点で何点ですか >

		n=	0点	1~20点	21~40点	41~60点	61~80点	81~99点	100点
全体		(1,500)	9.3	26.1	22.4	28.7	12.1	0.3	
性別	男性	(750)	8.7	25.6	20.8	29.1	13.7	0.7	
	女性	(750)	9.9	26.5	24.0	28.4	10.4	0.8	

防災対策の実施は女性のほうが積極的

現在実施している防災対策の内容を尋ねると、最も多いのは「避難場所の確認」で、半数以上の方が挙げています。他に多いのは「各種保険への加入」や「食料、飲料水などの備蓄」「家具の転倒防止」などで、やはり地震災害を意識した対策が上位を占めています。

<あなたはどのような災害への対策を優先して行っていますか？(複数回答)>



男性の中で30%以上の方が「実施している」と答えた対策が4つであるのに対して、女性では7つ。また、全部で21の対策(その他、何もしていない、を除く)のうち、ポイントで男性が女性を上回ったのは7つだけでした。前述(P2)の「防災に対する意識」では男性が上回りましたが、実際の行動に移しているのは女性のほうが多いことがうかがえます。

防災にかけられる費用では男性が上回る

1年間のうちに防災対策にかけられる費用について聞いたところ、全体の平均は31,738円となりました。性別で見ると、男性全体の平均が35,437円であるのに対して、女性全体の平均は28,035円。意外に大きな開きが見られました。

地域別では、東京都・愛知県・大阪府のいずれも最も多いのが「1万円以上5万円未満」の人。2番目も「5万円以上10万円未満」で変わりません。しかし3番目は東京都と大阪府が「5000円以上1万円未満」であるのに対して、愛知県は「10万円以上」。地域別の平均費用は、東京都 31,180円、愛知県 31,580円、大阪府32,455円となりました。

<あなたは防災対策にかけられる費用を年間でどのくらいと考えていますか？>

		n=	<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> □ 0円 □ 5000円未満 □ 5000円以上1万円未満 □ 1万円以上5万円未満 □ 5万円以上10万円未満 □ 10万円以上 </div>						(%)
全体		(1,500)	5.5	9.2	11.6	49.3		13.9	10.5
地域	東京都	(500)	5.4	9.4	11.6	49.2		13.6	10.8
	愛知県	(500)	4.2	9.4	10.6	48.8		15.2	11.8
	大阪府	(500)	7.0	8.8	12.6	50.0		12.8	8.8

[調査概要]

調査期間 : 2009年5月

調査方法 : インターネット調査

調査対象 : 東京都・愛知県・大阪府在住で20代以上の既婚男女各750名(計1,500名)

本調査に関する問い合わせ先

株式会社ウッドピタ

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵三丁目19番7号

TEL : 052-939-3550

担当 : 経営企画部 矢田浩史郎